

バクテロイデス・テタイオタミクロン由来の α -マンノシダーゼ 92L、組換え型

Cat. No. NATE-1471

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 α -マンノシダーゼは酸性加水分解酵素で、植物の液胞に存在し、N-結合糖タンパク質のターンオーバーに関与していると考えられています。 α -マンノシダーゼはBリンパ球の増殖を抑制することが示されています。

別名 アルファ-D-マンノシダーゼ; アルファ-マンノシダーゼ; アルファ-D-マンノシド マンノヒドロラーゼ; α -D-マンノシダーゼ; EC 3.2.1.24; 9025-42-7

製品情報

種	バクテロイデス・テタイオタモイコロ
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1-
分子量	81.9 kDa
純度	>90% は SDS-PAGE による
濃度	0.25 mg/mL
最適pH	6.5
最適温度	37 °C
特異性	マンノースを含む炭水化物における α -1,3-結合

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。